

<認知症対応型共同生活介護用>
<小規模多機能型居宅介護用>

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	8
1. 理念の共有	1
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	2
5. 人材の育成と支援	0
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	1
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	0
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	5
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	1
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	0
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	3
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	6
1. その人らしい暮らしの支援	4
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	20

事業所番号	1472602786
法人名	有限会社 良観
事業所名	グループホーム ぽっかぽか
訪問調査日	平成26年12月16日
評価確定日	平成27年3月31日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

○項目番号について

外部評価は20項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[次ステップに向けて期待したい内容]

次ステップに向けて期待したい内容について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

平成 26 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1472602786	事業の開始年月日	平成17年4月1日	
		指定年月日	平成17年4月1日	
法人名	有限会社 良観			
事業所名	グループホーム ぽっかぽか			
所在地	(〒252-0246) 神奈川県相模原市中央区水郷田名 2-20-14			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	9名	
		ユニット数	1ユニット	
自己評価作成日	平成26年12月6日	評価結果 市町村受理日	平成27年5月10日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様の将来の為に意識し日々行動をしている。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町3-30-8 SYビル2F		
訪問調査日	平成26年12月16日	評価機関 評価決定日	平成27年3月31日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

- グループホームぽっかぽかは、有限会社良寛が経営母体で、JR相模原駅からバスで17分、最寄りバス停水郷田名から徒歩8分のところに位置しています。皁月の候には大量の鯉のぼりが棚引く事で知られる相模川堤防の桜並木や、川のせせらぎ、太陽の温もりが味わえる環境の元、民家を改造した大型木造2階建てのグループホームぽっかぽかがあります。
- 門を入ると野菜や花が植えられた畑を横にし、入居者が集う居間の縁先へと続き、1階は事務室、風呂、トイレ、食堂兼居間、キッチンと、5つの居室があり、2階は3部屋ある純日本家屋で、内部には手摺など高齢者入居の対応が施されています。
- 運営に当たって代表者は、「利用者一人一人の残された能力を最大限活かして、自らが生きる事を目指せる施設を作り上げる」をホーム運営の旗印に掲げています。利用者を「寝たきりにしない」との強い思いで、日常生活上の事を成すのにどんなに「時間はかかってもいい、あせらず、見守りでその方の自立にむけた行動の支援をする」を職員に徹底し、全職員が理解して介護支援にあたっています。
- ホームでは、入居者が何らかの役割を持って役立ちを感じながら、やりたい事が出来る自由を感じながら暮らす事で、認知症を進行させない取り組みを実践しています。例えば、食事の下拵え・洗濯物の取り入れとたたむ等、日常の介護支援として取り組んでいます。
- 「生きる力=食欲・体力」と考え、個々の体力「食欲と運動力」の引き出しのため、毎朝全員でラジオ体操を行い、活力向上への支援が行われています。
- 天気の良い日は毎日散歩を行い、行き交う方々と挨拶を交わし、近所の人との交わりのある暮らしの支援が行われています。近所の方から季節の野菜が届けられたり、散歩時に花や野菜を頂く等、良好な関係が築かれています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム ぽっかぽか
ユニット名	

V アウトカム項目		
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
		2, 利用者の2/3くらいの
		3. 利用者の1/3くらいの
		4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
		2, 数日に1回程度ある
		3. たまにある
		4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない

1. 47E+09

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
		2, 家族の2/3くらいと
		3. 家族の1/3くらいと
		4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
		2, 数日に1回程度ある
		3. たまに
		4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
		2, 少しずつ増えている
		3. あまり増えていない
		4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
		2, 職員の2/3くらいが
		3. 職員の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
		2, 家族等の2/3くらいが
		3. 家族等の1/3くらいが
		4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	共有している。	理念は、「お客様の立場に立ち何を望んでいるかを心から考え、一つずつ確実に社会に貢献していく」と謳い、方針には、「入居者に対して家庭的な環境の中で自身の生きる力を最大限活かせるよう介護者が生活の援助を行う」と指針とし、ホーム内に掲げて、毎月のミーティング時などに確認しています。また、代表者は人に喜ばれる事を施す事が社会貢献と考え、「一人が笑えば皆も笑う、丸い心で家族は何時もぼっかぼか」をモットーに、ホーム運営が行われています。	今後の継続
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	毎日の散歩で交流出来ている	ホームでは天気の良い日は毎日散歩を行い、行き交う方々と挨拶を交わし、近所の方から季節の野菜が届けられたり、花を頂くなどの交流があります。また、自治会に加入し、お祭りへの参加やその他、近くの保育園から牛乳パックを預かり、入居者が開封して子ども教材作りを手伝う事での交流もあります。更に、経営者が多く出席する県央地区グループホーム協議会に代表が出席し、情報交換と交流を図っています。	今後の継続
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議や日々の交流の中で話し合っている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	参加者から意見を聴きながら話し合いをしている	2ヶ月に1回、自治会長、民生委員、相模原市役所職員、地域包括支援センター職員、入居者、ホーム長、取締役代表の参加で、ホームの運営状況、と今後の運営に関する考えや行事予定などを報告し、質問、意見、提案などを頂きながら話し合を行っています。討結果は運営に反映しています。また、地域情報や研修情報なども得て活用しています。	今後の継続
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	いくらかの部署と連携している	入居者の生活保護受給の手続き等の相談で、相模原市の生活支援課とは都度連絡を取り合っ解決につなげています。その他、ホームの状況報告を行い、研修などの連絡を受け、職員のスキルアップの為に計画的に参加しています。また、市の窓口とは交流が行われています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎月の会議で話し合いをしている	運営規定11条と契約書6条に「身体拘束、その他利用者の行動を制限しない、緊急やむない場合も家族に連絡の上、同意を得てマニュアルに沿った対応をする」と謳い、身体拘束を単なる言葉の上だけの理解でなく、日々のサービス提供の場を通して、何が禁止行為に該当するのか、その行為とデメリットについて毎月の会議や研修を通じて共有認識しています。日中は、ホーム玄関は施錠をせず、職員の見守りで対応しています。結果、入居者の安心と安らぎのある暮らしにつながっています。	今後の継続
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎月の会議で話し合いをしている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	必要に応じては試合の場を設けている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	必ず行っている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	毎月の手紙で状況説明を行い、質問などがあれば聴いている	入居契約時に、重要事項9の「内外苦情相談窓口」を説明し、運営規定10条に沿って、その対応の説明をしています。日常的な苦情は、利用者から直接聴くように努め、家族には来訪時にホーム長や職員から生活状況の報告と共に、意見等を聴いて、記録に残しています。意見等は、フロア会議で検討の上、返答と共に運営に反映するようにしています。情報に関しては最終窓口を1つにして社長が努め、ホーム内の意思統一につながっています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の会議の場で聞いている	法人代表や管理者は、月1回のフロア会議の中で職員の意見や要望など（会社への要望と題して）を聞いて、意見を抽出しています。また、代表や管理者と職員間には気軽に話せる関係を構築し、日々の会話の中からも意見や提案を聞いています。今後、更にリクレーション等を通じての意思疎通も深め、得た意見要望は必ず公開して運営に反映するように検討しています。	今後の継続
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	毎月の会議の場で聞いている		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修などの情報は提供し必要なら参加させている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	県央グループ協議会を活用している		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前入居後共に確認している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前入居後共に確認している		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前入居後共に確認している		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	毎日のコミュニケーションの中で関係を築いている		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月の手紙で状況説明を行い、連絡を取り合いながら関係を築いている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者と話し合いながら必要に応じて支援している	入居者との日頃の会話や、表出の困難な方とは仕草などで推し量るよう努め、過去の（住んでいた所・仕事、楽しかった出来事）等の思い出や、今の思いを知り、出来るだけ意思に沿った支援を心がけています。お墓参りや、住んでいた家を訪れる等、支援しています。更に、家族の確認をとりながら、友人の訪問や手紙の投函、電話の取り継ぎなどの支援もしています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士がコミュニケーションを取れるよう職員が支援している		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	相談できる体制を確保している		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々のコミュニケーションが把握につながっている	入居者には自らの想いを伝えることが出来る人と出来ない人がいます。想いが伝えられる方とは会話から伺い知り、そうでない方には「仕草や表情」からその方の想いを汲み取り、家族等からの情報を加味して把握に努めています。その上で職員間で共有を図り、出来るだけその方の想いに適う支援に努めています。また、意向については「出来る事、出来ない事」を説明して理解してもらうようにしています。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	日々のコミュニケーションが把握につながっている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々のコミュニケーションが把握につながっている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者には日々のコミュニケーション、職員は毎月の会議関係者には手紙や電話などで把握し検討計画している	通常6ヶ月、短期的には3ヶ月、変化のある場合には都度の見直しを基準にして、職員の日々の観察を基に、計画作成者を中心に意見を述べ合い、家族の意見・要望も聞いてカンファレンスを行い、残存能力に見合った計画を作成しています。介護計画は、本人・家族に確認を頂き実施しています。また、モニタリングを計画的に行い、計画とのずれが生じないように努めています。	今後の継続
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日にミーティングを活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	毎日のミーティングで状況に合わせた対応をしている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	自治会に参加し施設の枠にとられない生活を送っている		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の意思を尊重した対応をしている	入居時にかかりつけ医の有無と継続診療の希望を確認して、希望の場合は家族経由で共有するようにしています。ホーム提携医の診療の希望者は、週1回の通院による受診で利用者の医療的管理が行われています。更に、必要に応じて他クリニックへの紹介や他専門科目の受診の支援も行い、適切な医療支援を行っています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師と職員が情報共有し話し合える環境にしている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	窓口を一本化し対応をしている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	将来については管理者や職員は自然な話しと認識した上で利用者と話し合っている	重度化・終末期のケアのあり方について、入居時に書面で家族に説明し、医師または看護師が終末期と判断した時点で、看取り介護を希望される場合は、家族・事業所責任者・医師と話し合い、合意に至れば覚書によりホームでの看取り介護を行う方針です。ホームは終末医療協力医と提携しています。全職員に看取り介護実施の理解と共有を図っています。今後、意識と知識の向上を深めたいと考えています。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	毎月の会議や日々のミーティング、定期的に看護師を交えて勉強会を開いている		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練は2ヶ月に一回行なっている	運営規定9条に「火災、その他、自然災害に対処すべく防災計画の策定と定期的な避難訓練の実施」を謳い、1回/2月の夜間・地震後の火災を想定した入居者を伴った避難訓練を実施しています。先の震災の経験から非常用備蓄では、食料・水、停電時の対応として乾電池等を確保しています。ホームではスプリンクラー設置工事が終わっています。（屋内配管完了）	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	毎月の職員会議で話し合っている	入居者を人生の先輩として敬い、家庭的な雰囲気の中にも誇りやプライバシーを損ねることの無い言葉遣いと態度に心がけ、トイレ誘導にも思いやりと穏やかな呼びかけで支援が行われています。排泄に失敗した場合にも他に気付かれないよう配慮しています。（呼称は本人の希望が取り入れられています）	今後の継続
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入社時に話す一番のポイント		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のペースや希望が最優先である		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	希望があれば対応し、職員から利用者に提案したりしている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日行っている	職員の作成のメニューに入居者のリクエストなども交え、材料を仕入れています。調理下ごしらえでは包丁を使っての「ねぎの小口切り」等、細かな刻みや、盛り付け、配膳、下膳、食器拭きなど、出来る人にして頂き、全員が何らかの役割を持って食事作りに関わっています。また（パン食では好みの種類をジャンケンで選ぶ）など楽しみながらの食事が、入居者のペースで行われています。また、入居者の要望で回転すし等、外食も取り入れた楽しめる食事支援を行っています。（食べる力＝生きる力と捉えられている）	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日行っている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎日行っている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	毎日行っている	排泄チェック表を利用した、その人に合った声かけ・見守りの支援と共に、代表者の熱い思いで、「汚れたら洗えばいい、時間はかかってもいい、オムツの無い自立排泄での生活を実現させよう」と、夜間も昼間と同様の支援を行い、転倒防止の見守りの他は特別な対応は行なわず、自立に結び付けています。また、時には失敗も是とし、臭気の根絶も全員で入居者のプライドを傷付けない配慮のもと、徹底した取り組みで成果を上げています。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日行っている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	毎日行っている	入浴は、曜日・時間を決めず、個々の希望を聴き、柔軟に対応することを原則として現在、毎日の入浴支援を行っています。入浴が清潔保持のみならず、身体観察からの健康管理の効用（打ち身・あざ・湿疹などの発見）を踏まえて、入浴を嫌がる（入浴は嫌いでない！入るまでの過程が嫌い。を知って）方にも時間や職員を変えて声かけを行い、無理強いくことなく支援が行われています。季節のゆず湯、菖蒲湯なども取り入れて楽しみの工夫もしています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	毎日行っている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	都度行っている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々のコミュニケーションで把握し支援している		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎日行っている	散歩利用者が多く、天気の良い日は健康チェックの後、職員と1対1か1対2で、ホーム近くの相模川に沿った散歩コースをはじめとし、時には買い物などに行き、楽しんでいます。また、車を使って弁当持ちで川原の芝桜見物や相模原公園などにも出かけています。また、家族と共に外食や買い物等に出かけられる方もいます。ホームでも1回/月外食の日を設けています。	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	状況に応じて対応している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	毎月行っている			
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	日々対応している	共用空間は、騒音や異臭なども無く、居間兼食堂の大きなガラス戸からの採光が良く、明るい造りになっています。居間には、テーブルの他、ソファが置かれ、続きに畳の部屋もあり、座卓が置かれています。壁面には入居風景写真が貼られ、テーブルには花が活けられ、季節感を醸し、利用者が寛げる工夫がなされています。部屋には犬と猫が飼われ、入居者のマスコットとして可愛がられています。また、居間と和室の境となる鴨居に吊り輪を取り付け、歩行の自立支援が楽しみながら行われています。		今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	基本的に自由である			
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	原則持込になっている	重要事項説明書に、「馴染みの深い品物でご飯茶碗、湯飲み、箸、履物、衣装ケースなどお持ち下さい」と謳って入居時に説明し、各部屋には夫々の馴染みの茶箆笥や、椅子、鏡台、家族写真、ぬいぐるみや、仏壇等が置かれ、夫々思いの設えで自分の部屋を工夫しています。		今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者の状況に合わせて対応している			

目 標 達 成 計 画

事業所

グループホーム
ぽっかぽか

作成日

平成26年12月16日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	職員の定着率	職員が退職しなくなる環境作り	職場内の雰囲気改善や職員同士のコミュニケーションが取れやすい場を設ける	1年間

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

1.47E+09